

令和7年度 施策評価シート

基本目標	IV 安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政 策	430 高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる
施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する
施策の目標	高齢期を迎えた区民が、就労をはじめ、地域活動や趣味、特技を活かしたボランティア活動等を通じて社会参加し、生きがいをもち、充実感のあるセカンドライフを過ごしています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「生きがいがある」65歳以上の区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	72.0%	—	—	—	73.0%
実績	71.1. %	—	—	—	70.4%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	75.0%
実績	—	—	56.6%	—	

指標名	シルバー人材センター就業率及び会員数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	—
実績	就業率：73.5% 会員数：1,798人	就業率：73.9% 会員数：1,721人	就業率：67.5% 会員数：1,724人	就業率：69.5% 会員数：1,663人	就業率：70.4% 会員数：1,532人
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	就業率：72.0% 会員数：1,538人	就業率：72.0% 会員数：1,542人	就業率：72.0% 会員数：1,546人	就業率：72.0% 会員数：1,550人
実績	就業率：69.3% 会員数：1,489人	就業率：69.4% 会員数：1,475人	就業率：67.1% 会員数：1,503人	就業率：66.5% 会員数：1,524人	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述		総事業費推移（千円）	
令和4年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがいがある」と回答した高齢者が56.6%で、令和元年度の同調査結果（70.4%）から13.8%減少している。令和4年度はコロナ禍での調査ではあるが、「生きがいがある」高齢者数が減少している。一方で、令和6年度シルバー人材センターの会員数は2年連続で増加し、上向きに転じている。高齢者が自分らしく生きがいを持って社会参加できる場や活動の拡充、地域活動の担い手を増加させるための取組が必要である。		R4	435,645
		R5	530,287
		R6	583,861

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	既存の事業に加え、令和3年度から高齢者のデジタルデバйд解消事業も実施しており、多様な事業展開が高齢者の社会参加に対する選択肢を広げ、高齢者の生きがいつくりにつながっていることから、施策目標が一定程度達成されている。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
☐	(1) 優先的に資源投入を図る
☐	(2) 現状維持とする
☒	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
☐	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
コロナ禍以前の状況に戻せるように、既存の事業を見直し、改善を図っていく必要がある。	
今後の具体的な方針	
令和6年3月に策定した「高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、「生きがい」を実感できるセカンドライフを実践できる事業を展開するとともに、高齢者が経験や知識を生かした「働き」ができる社会環境の整備に努める。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	施設介護ボランティア・ポイント付与事業費	介護保険課	330	920	1,250	現状維持
2	高齢者福祉センター運営経費	高齢者福祉課	187,335	10,069	197,404	現状維持
3	シルバー人材センター運営助成事業費	高齢者福祉課	108,037	1,831	109,868	現状維持
4	指定管理者による管理運営委託経費	高齢者福祉課	83,808	1,831	85,639	現状維持
5	にこにこ入浴デー事業費	高齢者福祉課	77,971	3,662	81,633	現状維持
6	老人クラブ運営助成金	高齢者福祉課	44,436	4,577	49,013	現状維持
7	長寿マッサージ事業費	高齢者福祉課	3,232	1,831	5,063	現状維持
8	セカンドステージ支援事業費	高齢者福祉課	2,850	1,831	4,681	現状維持
9	姉妹区提携交流ゲートボール大会経費	高齢者福祉課	204	1,831	2,035	現状維持
10	ふれあい給食事業費	高齢者福祉課	354	915	1,269	現状維持
11	長寿者に対する祝金の贈呈事業費	高齢者福祉課	31,183	3,662	34,845	改善・見直しのうえ継続
12	高齢者デジタルデバインド解消事業費	高齢者福祉課	3,838	7,323	11,161	改善・見直しのうえ継続

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	施設介護ボランティア・ポイント付与事業費					
主管課	介護保険課	電話番号（内線）	3479			
目 的	高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供体制を支援する。					
対 象 者	介護サービスを受けていない、65歳以上の墨田区民					
根拠法令 関連計画	介護支援ボランティア・ポイント実施要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員 1、会計年度職員 1	
事業内容	介護保険法に規定する介護予防事業として、高齢者が介護保険施設でボランティア活動を行った場合にポイントを付与する制度である。 高齢者自身の介護予防の推進と地域活動への参加促進を図るとともに、介護保険施設のサービス提供を支援している。 1時間あたり1ポイント（1か月20ポイントまで）を付与する。 1ポイント100円に換算した活動交付金（年度上限額20,000円まで）を交付する。					
経 過	開始年度	平成21年度			終了予定	
	[平成21年度]事業開始 [平成28年度]要綱改正・・・ポイント上限額を増額した。（10,000円から20,000円へ）					
議会質問 の 状 況	[平成27年3定]公明党から制度の充実を求める質問があった。 [令和2年]決算特別委員会で立憲民主党墨田区議団から資料の提出要求を受けた。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,769	1,507	1,409	1,036	834	807
A. 決算額（令和7年度は見込み）		437	404	341	286	330	807
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	437	404	341	286	330	807
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（％）		24.7％	26.81％	24.2％	27.61％	39.57％	100％
B. 人コスト		1,410	2,316	1,636	865	920	
総事業費（A+B）		1,847	2,720	1,977	1,151	1,250	
予算書P（令和7年度）		p149-14		執行実績報告書P（令和6年度）		p93-14	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報償費	211	報償費	240	報償費	640
役務費	57	役務費	67	役務費	139
需用費	19	需用費	24	需用費	28
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	受入施設数				単位	施設
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		65	令和7年度	目標	44	49	51	53
				実績	47	49	52	60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	57	59	61	63	65
		実績	62	61	61	64	64	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		高齢者がボランティア活動を行うことができる施設の選択肢が増えることによって、より活発な活動を期待できるようになる。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	登録人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		224	令和7年度	目標	200	200	203	206
				実績	195	196	183	175
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	209	212	215	218	221	224
		実績	144	56	37	36	46	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本制度に登録する高齢者の人数の推移により、事業の目的の達成の度合いを測ることができる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	受入れ施設を増やすことでボランティアの活動の場を確保し、ボランティア数の一層の増加を図る。

課題・問題点
コロナが5類となつてからも施設側の受入れ休止が続いているが、施設の運営状況として、対策を講じることやむを得ず、受け入れを再開してほしい旨、希望を伝える事しかできない。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	高齢者福祉センター運営経費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3423
目 的	高齢者に対して健康の増進と教養の向上のため各種サービスを提供することにより、高齢者の福祉の充実を図る。					
対 象 者	(1) 区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア (2) (1)の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 (3) 指定管理者が特に認める者及び団体					
根拠法令 関連計画	・墨田区高齢者福祉保健センター条例、同施行規則 ・墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	経過のとおり	
事業内容	指定管理者が主催する体操や卓球などの健康の保持と増進に関する教室及び囲碁・将棋教室等の教養講座の実施や、自主サークルの活動を行う場所の提供を行うことで、高齢者の福祉の充実を図る。					
経 過	開始年度	平成6年度			終了予定	
	●立花ゆうゆう館 平成6年開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 指定管理者は、第1期（平成18年4月1日から平成21年3月31日まで）墨田区社会福祉事業団、 第2期から第4期（平成21年4月1日から令和4年3月31日まで）はNPO法人て一ねん・どすこい倶楽部、 第5期（令和4年度から令和9年3月31日まで）は社会福祉法人奉優会である。 ●梅若ゆうゆう館 平成12年4月に開設。平成18年度から指定管理者制度を導入した。 平成18年度から、指定管理者は墨田区社会福祉事業団であり、現在4期目である（令和8年3月31日まで）。					
議会質問 の 状 況	[平成28年2定] 元気高齢者施設の増設について [平成29年予算特別委員会] 稼働率について [平成30年予算特別委員会] 医療連携、自主事業について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		80,257	75,338	78,317	146,869	215,168	76,558
A. 決算額（令和7年度は見込み）		78,691	72,418	74,068	132,290	187,335	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	24,393	23,278	22,801	21,109	25,162	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		54,298	49,140	51,267	111,181	162,173	76,558
執行率（％）		98.05％	96.12％	94.57％	90.07％	87.06％	-％
B. 人コスト		3,529	9,676	8,997	9,363	10,069	
総事業費（A+B）		82,220	82,094	83,065	141,653	197,404	
予算書P（令和7年度）		P142-13		執行実績報告書P（令和6年度）		P85-13	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	58,796	工事請負費	117,910	委託料	68,272
工事請負費	58,541	委託料	60,540	使用料及び賃借料	6,646
使用料及び賃借料	14,196	使用料及び賃借料	8,035	需用費	1,138
需用費	759	需用費	852	備品購入費	390
				工事請負費	112
概 要		概 要		概 要	
委託料	管理運営に係る指定管理料	委託料	管理運営に係る指定管理料	委託料	管理運営に係る指定管理料
工事	梅若ゆうゆう館大規模改修工事	工事	立花ゆうゆう館大規模改修等	工事	施設の修繕
使用料	備品等のリース	使用料	備品等のリース	使用料	備品等のリース
	土地建物の使用料		土地建物の使用料		土地建物の使用料
需用費	梅若ゆうゆう館電気料	需用費	梅若ゆうゆう館電気料	需用費	梅若ゆうゆう館電気料

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	モニタリング実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		モニタリング実施率が100%であることが「指定業務が適切かつ効率的に実施されているかどうか」を確認できていることとなり、利用者に適切な各種サービスを提供できていることになるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	年間延べ利用者人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		103,000	令和7年度	目標	101,400	100,000	101,000	102,000
				実績	99,133	102,099	104,778	93,324
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000
		実績	26,067	31,104	45,024	48,838	46,422	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		多くの利用があれば有意義な施設と考え、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになる。目標値は、基準年実績から利用者が徐々に増加し、その後安定的な利用の数値を設定						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、施設閉館や利用自粛等による利用者の大幅な減少があったが、今後も感染防止対策を行ったうえ事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。 今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	シルバー人材センター運営助成事業費					
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3413			
目 的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。					
対 象 者	60歳以上の区民（シルバー人材センター会員）					
根拠法令 関連計画	・高齢者等の雇用の安定等に関する法律 ・公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱 ・墨田区福祉総合計画・第9期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	以下のとおり、補助金の交付を行う。 1 補助対象事業 （1）高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談 等 （2）向島、緑両作業所の運営 2 補助対象経費 （1）補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部 （2）全国シルバー人材センター賛助会員会費					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	昭和56年4月 補助金交付開始 平成29年4月 労働者派遣事業開始					
議会質問 の 状 況	[平成31年1定] シルバー人材センターの活用について [令和4年3月] インボイス制度の対応について [令和4年決算特別委員会] インボイス制度におけるセンター会員への対応について [令和6年予算特別委員会] シルバー人材センター会員の気候に対する装備について [令和6年予算特別委員会] シルバー人材センターの直近の会員数、会員獲得への区としての支援について					
そ の 他 特記事項	令和6年度時点：23区すべてが補助を実施している					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		100,353	101,604	104,068	145,080	112,706	113,100
A. 決算額（令和7年度は見込み）		100,353	96,724	101,008	136,492	108,037	113,100
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	12,660	13,368	14,995	14,995	14,995	14,995
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		87,693	83,356	86,013	121,497	93,042	98,105
執行率（％）		100％	95.2％	97.06％	94.08％	95.86％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		102,117	98,483	102,644	138,194	109,868	
予算書P（令和7年度）		P141-2		執行実績報告書P（令和6年度）		P83-2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	99,310	負担金補助及び交付金	108,037	負担金補助及び交付金	113,100
工事請負費	37,098				
委託料	85				
概 要		概 要		概 要	
シルバー人材センターに対する管理運営補助金、シルバー人材センター長期修繕工事		シルバー人材センターに対する管理運営補助金		シルバー人材センターに対する管理運営補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	シルバー人材センターの登録会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,700	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,700	1,538	1,542	1,700	1,700
		実績	1,532	1,489	1,475	1,503	1,524	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		シルバー人材センターの登録会員数が、高齢者の就業につながる指標となるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		160,000	令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	163,624
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	185,000	167,331	146,150	146,150	160,000	160,000
		実績	148,802	146,150	146,395	140,371	137,322	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		シルバー人材センター会員の就業状況を表す数値であり、就労を通じた高齢者の生きがいを示す指標となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後もシルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金		
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3413
根拠法令	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱		
補助概要	公益社団法人墨田区シルバー人材センターの運営費を一部補助する。		
目 的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。		
対 象	公益社団法人墨田区シルバー人材センター		
基 準	区独自基準		
補助条件	高齢者の就業に関する情報の収集及び提供事業、調査研究事業及び相談事業等を補助対象事業とし、当該事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部を補助する。補助金の交付にあたり、補助金交付申請書、事業計画書及び収支予算書の提出が必要である。		
経 過	開始年度	昭和 5 6 年度	終了予定
	昭和 5 6 年 4 月 補助金交付開始 平成 2 9 年 4 月 労働者派遣事業開始		
議会質問の状況	[平成 3 1 年 1 定] アクティブシニアの方々への施策について、シルバー人材センターの活用について [令和 2 年 7 月] シルバー人材センター会員の収入の確保について [令和 4 年 3 月] インボイス制度の対応について [令和 4 年決算特別委員会] インボイス制度におけるセンター会員への対応について [令和 6 年予算特別委員会] シルバー人材センター会員の気候に対する装備について [令和 6 年予算特別委員会] シルバー人材センターの直近の会員数、会員獲得への区としての支援について		
その他特記事項	2 3 区すべてが補助を実施している		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		100,353	101,604	104,068	145,080	112,706	113,100
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		100,353	96,724	101,008	136,492	108,037	113,100
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	12,660	13,368	14,995	14,995	14,995	14,995
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		87,693	83,356	86,013	121,497	93,042	98,105
執行率（％）		100 %	95.2 %	97.06 %	94.08 %	95.86 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	シルバー人材センターの登録会員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,550	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,700	1,538	1,542	1,700	1,700
		実績	1,532	1,489	1,475	1,503	1,524	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		シルバー人材センターの登録会員数が、高齢者の就業につながる指標となるため。						
		指 標	就業延べ日人員				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		146,150	令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	163,624
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	185,000	167,331	146,150	146,150	160,000	160,000
		実績	148,802	146,150	146,395	140,371	137,322	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		シルバー人材センター会員の就業状況を表す数値であり、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを示す指標となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後もシルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	指定管理者による管理運営委託経費					
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3423			
目 的	高齢者の健康増進及び生きがい創出並びに交流の促進を図るための事業を実施するとともに、活動の場を提供することにより、高齢者の福祉の増進を図る。					
対 象 者	(1) 区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア(2) 前号の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体(3) (1)(2)に掲げるもののほか、指定管理者が特に認める者及び団体					
根拠法令 関連計画	- いきいきプラザ条例、同条例施行規則 - 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	経過のとおり	
事業内容	(1) 健康増進、生きがい創出等に関すること。 (2) 交流の促進に関すること。 (3) 情報の収集及び提供並びに相談に関すること。 (4) いきいきプラザの利用に関すること。 (5) (1)～(4)に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業					
経 過	開始年度	平成16年度			終了予定	
	平成16年12月開設。 開設当時から指定管理者制度（1期：5年）が導入されており、指定管理者は、開設当時から3期目（平成30年3月31日）までNPO法人ワーカーズコープ、第4期（平成30年4月1日から令和5年3月31日まで）から社会福祉法人カメラア会、第5期（令和5年4月1日から令和10年3月31日まで）から社会福祉法人奉優会となっている。					
議会質問 の 状 況	[平成29年第4回定例会] 指定管理者の変更に伴う、今後の職員体制や施設運営について [平成30年第2回定例会] 指定管理者の変更にについて [令和4年11月議会] 指定管理者の変更にについて					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		51,212	47,787	50,276	59,644	88,504	56,275
A. 決算額（令和7年度は見込み）		47,603	46,694	50,120	56,498	83,808	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	26,666	16,685	17,247	15,573	18,697	16,509
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		20,937	30,009	32,873	40,925	65,111	39,766
執行率（％）		92.95％	97.71％	99.69％	94.73％	94.69％	-％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		49,367	48,453	51,756	58,200	85,639	
予算書P（令和7年度）		P143-14		執行実績報告書P（令和6年度）		P85-14	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	544,489	委託料	55,169	委託料	56,275
使用料及び賃借料	1,592	工事請負費	27,335	使用料及び賃借料	252
		使用料及び賃借料	1,305		
概 要		概 要		概 要	
委託料 管理運営に係る指定管理料 使用料 運営に必要な備品等のリース		委託料 管理運営に係る指定管理料 使用料 運営に必要な備品等のリース 工事 大規模改修工事（空調設備等）		委託料 管理運営に係る指定管理料 使用料 運営に必要な備品等のリース	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	モニタリング実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和７年度	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		モニタリング実施率が100%であることが「指定業務が適切かつ効率的に実施されているかどうか」を確認できていることとなり、利用者に適切な各種サービスを提供できていることになるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	年間延べ利用者人数				単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		70,000	令和７年度	目標	60,000	65,000	65,000	65,000
				実績	65,700	65,948	57,668	49,502
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績	23,034	22,792	35,351	33,390	33,182	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		多くの利用があれば有意義な施設と考え、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。目標値は、基準年の実績値から利用者数が徐々に増加するように設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行に伴い、利用者も少しずつ戻ってきているため、今後も基本的な感染対策を行ったうえで、事業を継続していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。 今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する				
事 業 名	にこにこ入浴デー事業費				
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）		3415	
目 的	区内に住む高齢者が、決められた日に無料または半額で入浴することにより、健康増進と、地域の住民や世代間の交流を図ることを目的とした事業である。				
対 象 者	65歳以上の高齢者				
根拠法令 関連計画	・ 墨田区高齢者にこにこ入浴デー事業実施要綱 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画 第9期介護保険事業計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合墨田支部
事業内容	にこにこ入浴デー事業 ● 区内の公衆浴場を高齢者に開放する。 ・ 「100円入浴デー」 毎週平日の月曜日から金曜日（※1）までのいずれか1日に100円で入浴が可能 ※1 国民の祝日、振替休日、冬至の日、年末年始（12月29日～1月3日まで）は対象外 ・ 「ふれあい半額入浴デー」（特定日） 国民の祝日（元日除く）と冬至の日とし、入浴証受給者並びにともに来場した家族はそれぞれの金額の半額で入浴が可能 「湯処・語らい亭」事業 ● 開店前の公衆浴場で催し物や講座等を実施し、高齢者とそれ以外の世代の交流を図る。				
	開始年度	昭和50年度			終了予定
経 過	昭和50年度	事業開始			
	平成6年度	こどもの日（菖蒲湯）・敬老の日・冬至の日（ゆず湯）を特定日とする。			
	平成14年度	開店前浴場解放事業の実施（湯処・語らい亭）			
	平成18年度	毎月25日をすみだ家庭の日として特定日に追加。			
	平成29年度	無料入浴デーを毎週金曜日から毎週木・金曜日のいずれか1日に変更。 すみだ家庭の日の特定日を廃止。			
	令和6年度	毎週1回の開放日の利用料金を100円に変更及び利用日を毎週平日月～金のいずれか1日に拡大。 ふれあい半額入浴デーを現行3日間から、元日を除く国民の祝日を加えた16日間に拡大。			
議会質問 の 状 況	[令和2年決算特別委員会] コロナ禍での感染防止対策等について [令和3年決算特別委員会、令和4年予算特別委員会] スキームの見直し等について [令和4年決算特別委員会、令和5年予算特別委員会] スキームの見直し等について [令和5年決算特別委員会、区民福祉委員会] 制度変更について [令和6年予算特別委員会]制度変更について				
そ の 他 特記事項	[他区の状況・年間スケジュール・関連部署等] ・ R6年時点 23／23区で実施				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		79,608	84,795	92,288	83,792	83,029	94,842
A. 決算額（令和7年度は見込み）		73,118	82,771	90,655	81,301	77,971	94,842
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,032	1,307	1,938	1,428	2,149	1,901
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		71,086	81,464	88,717	79,873	75,822	92,941
執行率（%）		91.85%	97.61%	98.23%	97.03%	93.91%	100%
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		76,647	86,289	93,927	84,706	81,633	
予算書P（令和7年度）		P141-5、6		執行実績報告書P（令和6年度）		P84-5、6	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	80,963	委託料	73,067	委託料	93,726
役務費	309	役務費	4,271	役務費	1,103
需用費	31	需用費	635	需用費	13
概 要		概 要		概 要	
消耗品費、印刷製本費、通信運搬料、入浴証交付事務委託、にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語らい亭実施委託		消耗品費、印刷製本費、通信運搬料、入浴証交付事務委託、にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語らい亭実施委託		消耗品費、印刷製本費、通信運搬料、入浴証交付事務委託、にこにこ入浴デー実施委託、湯処・語らい亭実施委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	にこにこ入浴実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3,841	令和7年度	目標	1,400	1,800	1,951	2,000
				実績	1,407	1,811	1,957	1,859
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	1,926	1,926	1,926	1,926	3,841
		実績	1,482	1,770	1,769	1,576	3,001	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施回数が多いほど高齢者のふれあいの機会創出につながるため。なお、浴場数が減少傾向にあるため、目標値は令和3年度から現状維持とする。令和7年度は制度改正に伴い修正した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	にこにこ入浴利用者延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		294,000	令和7年度	目標	290,000	293,000	294,000	294,000
				実績	293,654	288,275	288,667	278,041
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	294,000	286,200	195,709	286,200	294,000	294,000
		実績	195,454	216,944	213,957	200,355	180,128	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者増加が高齢者の閉じこもり防止、ふれあい交流につながるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は多くの高齢者の閉じこもり防止、健康増進及び世代間交流につながっていることから、今後も継続して実施していく。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	老人クラブ運営助成金					
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3412			
目 的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。また、墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。					
対 象 者	・クラブ設立後継続して3か月以上活動している老人クラブ ・墨田区老人クラブ連合会					
根拠法令 関連計画	・墨田区老人クラブ助成要綱 ・墨田区老人クラブ連合会助成要綱 ・墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	各クラブに対しては、次の活動における諸経費を助成対象としている。 ・社会奉仕活動：公園・町内・道路等の清掃活動等 ・健康をすすめる活動：スポーツの練習等 ・生きがいを高める活動：演芸大会等 ・特別事業活動：多世代等との交流事業等 また、墨田区老人クラブ連合会に対しては次の事業への経費を助成対象としている。 ①高齢者福祉大会 ②会報発行 ③運営助成 ④平和のかたりべ事業 ⑤高齢者の生きがいと健康づくり事業 ⑥健康教室事業					
経 過	開始年度	昭和40年度			終了予定	
	[昭和40年度] 助成開始（各老人クラブ） [昭和46年度] 助成開始（墨田区老人クラブ連合会） [平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回→1回、助成額各ランク1,000円増） [平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円→21,600円） [平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ→助成額各ランク1,800円増）					
議会質問 の 状 況	[平成30年決算特別委員会] 老人クラブ連合会からの助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて [令和5年決算特別委員会] 「老人クラブ」の名称見直しについて					
そ の 他 特記事項	令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を一部中止したが、令和5年度からは中止していた事業も復活した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		48,908	48,406	47,830	46,834	44,756	44,314
A. 決算額（令和7年度は見込み）		48,031	47,149	46,625	44,077	44,436	44,314
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	5,130	5,010	4,935	4,650	4,491	4,476
	その他	0	5,042	2,224	878	368	0
一般財源		42,901	37,097	39,466	38,549	39,577	39,838
執行率（%）		98.21%	97.4%	97.48%	94.11%	99.29%	100%
B. 人コスト		4,411	4,398	4,090	4,256	4,577	
総事業費（A+B）		52,442	51,547	50,715	48,333	49,013	
予算書P（令和7年度）		P141-1		執行実績報告書P（令和6年度）		P83-1	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	44,039	負担金補助及び交付金	44,395	負担金補助及び交付金	44,264
役務費	38	役務費	41	役務費	50
概 要		概 要		概 要	
郵送料、老人クラブ助成金、老人クラブ連合会助成金		郵送料、老人クラブ助成金、老人クラブ連合会助成金		郵送料、老人クラブ助成金、老人クラブ連合会助成金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	老人クラブ補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		130	令和7年度	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	147
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	130
		実績	147	144	143	133	129	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		50,000	令和7年度	目標	538,000	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	50,000
		実績	25,877	28,965	32,348	36,116	38,717	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		活動回数が増加することは、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。クラブ数が減少傾向にあるため、目標値を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	老人クラブでの活動は、高齢者の健康づくりや生きがいのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、各クラブに対する助成金の交付を継続して実施する。墨田区老人クラブ連合会は、各老人クラブの活動を支えている組織であり、各単位老人クラブ同様助成金交付を継続して実施する。

課題・問題点
老人クラブ加入者の減少傾向及び高齢化が進んでいる。特に近年では、会長の後任が見つからないこと等の理由で老人クラブ数が急激に減少している。高齢者の健康づくり、生きがいづくり等における重要なコミュニティであるため、各老人クラブ活動の活性化を図る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 6

補助金名	老人クラブ助成金		
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3412
根拠法令	墨田区老人クラブ助成要綱		
補助概要	老人クラブ活動（社会奉仕活動、友愛活動、健康をすすめる活動、生きがいを高める活動）の経費に対し補助する。		
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。		
対象	区内老人クラブ		
基準	区独自基準		
補助条件	・「墨田区老人クラブ運営基準」に準拠して運営される老人クラブで、設立後継続して3カ月以上活動を行っているもの。 ・助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要である。		
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定
	昭和40年度 助成実施 平成3年度 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回→1回、助成額各ランク1,000円増） 平成12年度 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円→21,600円） 平成30年度 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ→助成額各ランク1,800円増）		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 老人クラブ連合会からの助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		35,766	35,237	34,560	33,884	30,193	29,995
A. 決算額（令和7年度は見込み）		35,012	17,618	33,373	31,211	29,873	29,995
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	4,233	4,144	4,089	3,859	3,715	3,686
	その他	0	3,005	1,990	669	1	0
一般財源		30,779	10,469	27,294	26,683	26,157	26,309
執行率（%）		97.89 %	50 %	96.57 %	92.11 %	98.94 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		130	令和 7 年度	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	147
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	130
		実績	147	144	143	133	129	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。						
		指 標	老人クラブ活動回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		50,000	令和 7 年度	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,719	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	50,000
		実績	25,877	28,965	32,348	36,116	38,717	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。クラブ数が減少傾向にあるため、目標値を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	老人クラブでの活動は、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、各クラブに対する助成金の交付を継続して実施する。 墨田区老人クラブ連合会は、各老人クラブの活動を支えている組織であり、各単位老人クラブ同様助成金交付を継続して実施する。

課題・問題点
老人クラブ加入者の減少傾向及び高齢化が進んでいる。特に近年では、会長の後任が見つからないこと等の理由で老人クラブ数が急激に減少している。高齢者の健康づくり、生きがいづくり等における重要なコミュニティであるため、各老人クラブ活動の活性化を図る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 6

補助金名	老人クラブ連合会助成金		
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3412
根拠法令	墨田区老人クラブ連合会助成要綱		
補助概要	墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。		
目的	連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより老人福祉の増進に資する。		
対象	墨田区老人クラブ連合会		
基準	区独自基準		
補助条件	助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要である。		
経過	開始年度	昭和 4 6 年度	終了予定
	[昭和46年度] 助成開始		
議会質問の状況	[平成 3 0 年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業の一部を中止した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		13, 100	13, 128	13, 228	12, 909	14, 563	14, 319
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		12, 977	6, 564	13, 210	12, 828	14, 563	14, 319
財 源	国	0	0	0	0	0	790
	都	897	866	846	791	776	790
	その他	0	2, 037	233	208	0	0
一般財源		12, 080	3, 661	12, 131	11, 829	13, 787	12, 739
執行率（％）		99. 06 ％	50 ％	99. 86 ％	99. 37 ％	100 ％	100 ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	墨老連関係事業数				単 位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		95	平成 7 年度	目標	95	95	95	95
				実績	93	93	93	82
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95	95	95	95	95	95
		実績	15	30	70	77	79	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことに繋がるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	連合会関係事業参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8,000	平成 7 年度	目標	22,000	22,000	22,000	20,000
				実績	21,639	20,823	18,842	19,143
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	8,000
		実績	1,438	2,699	3,383	5,237	5,698	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。クラブ数が減少傾向にあるため、目標値を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を支えており、今後も助成金事業を継続して実施する。

課題・問題点
老人クラブ及び加入者の減少傾向及び高齢化が進んでいる。区と墨老連で連携を図りながら、加入者の増加につながるような事業を構築していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	長寿マッサージ事業費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3414
目 的	区内在住の高齢者に対して、マッサージの施術を行うことにより、高齢者の健康増進に寄与するとともに、閉じこもりの防止につなげる。					
対 象 者	マッサージの施術を受けることができる60歳以上の区民					
根拠法令 関連計画	・単年度決裁 ・墨田区高齢者福祉総合計画 第9期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	区内10か所の各長寿室等の利用者に対し、マッサージを施術する。 施術については、墨田区視覚障害者福祉協会の協力のもと有償ボランティアとして実施し、障害者の社会貢献の一端を担っている。 ・回数：月2回 ・利用人数：1回4人 ・場所 みどりコミュニティセンター、横川三丁目集会所、京島会館、いきいきプラザ、社会福祉会館、八広地域プラザ、すみだ福祉保健センター、立花ゆうゆう館、梅若ゆうゆう館、杉山鍼灸治療所（10か所12床）					
経 過	開始年度	昭和53年度			終了予定	
	[昭和53年度] 事業開始					
議会質問 の 状 況	【令和2年度決算特別委員会】対象者年齢の見直しについて 【令和5年度決算特別委員会】事業内容について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ・R6年時点 18/22区で実施 ・18区で高齢者を対象としたマッサージ事業を実施しているが、対象年齢や費用負担の有無など事業内容は各区で異なる。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,891	2,069	3,414	3,385	3,350	3,108
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,515	1,565	3,239	3,184	3,232	3,108
財 源	国	873	873	873	873	873	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1,000
一般財源		642	692	2,366	2,311	2,359	2,108
執行率（％）		52.4％	75.64％	94.87％	94.06％	96.48％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		3,279	3,324	4,875	4,886	5,063	
予算書P（令和7年度）		P142-8		執行実績報告書P（令和6年度）		P84-8	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報償費	2,895	報償費	2,871	報償費	2,735
需用費	206	需用費	273	需用費	280
役務費	63	役務費	69	役務費	68
負担金補助及び交付金	21	負担金補助及び交付金	20	負担金補助及び交付金	25
概 要		概 要		概 要	
謝礼金 消耗品 布団乾燥・消毒 団体損害保険		謝礼金 消耗品 布団乾燥・消毒 団体損害保険		謝礼金 消耗品 布団乾燥・消毒 団体損害保険	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		288	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	384	384	144	288	288	288
		実績	121	136	288	280	280	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施回数は、高齢者の健康増進や外出機会の創出を知る指標となるため。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,152	令和7年度	目標	1,824	1,780	1,780	1,480
				実績	1,799	1,795	1,736	1,356
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,536	1,536	576	1,152	1,152	1,152
		実績	443	514	1,118	1,091	1,106	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者数は、本事業が健康増進や閉じこもり防止に寄与した高齢者数を示す指標となるため。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	マッサージ施術により、高齢者の健康増進に寄与するとともに外出機会の創出につながっている。また、施術は墨田区視覚障害者福祉協会に依頼しており、障害者の社会貢献の一端を担う事業ともなっている。このため、本事業を今後も継続して実施する。

課題・問題点
施術を依頼している墨田区視覚障害者福祉協会の施術者が高齢化しており、担い手が不足している。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	セカンドステージ支援事業費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3414
目 的	元気なシニア世代が、地域の中で培ってきた経験や特技を活かしながら生きがいをもって社会参加できる環境づくりを目的とする。					
対 象 者	おおむね55歳以上の区民					
根拠法令 関連計画	・単年度決裁、シニアメールマガジン事業要綱、シニア人材バンク事業運営要綱 ・墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：てねん・どすこい倶楽部	
事業内容	セカンドステージセミナーの開催（年4回） 生きがい講座の開催（年6回） シニア人材バンク運営 シニア向け情報誌の発行（毎月1回） シニア向けメールマガジンの配信（毎月2回）					
経 過	開始年度	平成14年度			終了予定	
	平成14年度	てねん・どすこい倶楽部発足				
	平成15年度	ボランティア事業開始（セミナー等）				
	平成19年度	てねん・どすこい倶楽部がNPO法人化				
議会質問 の 状 況	[平成27年予算特別委員会] 地域活動の意欲を持ったシニア世代の活用について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和2年度及び令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、セカンドステージセミナー及び生きがい講座の開催を一部中止した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,915	2,915	2,903	2,903	2,850	2,850
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,832	2,386	2,863	2,892	2,850	2,850
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,457	1,457	1,452	1,452	1,415	1,425
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,375	929	1,411	1,440	1,435	1,425
執行率（％）		97.15％	81.85％	98.62％	99.62％	100％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		6,361	5,904	4,499	4,594	4,681	
予算書P（令和7年度）		P141-4		執行実績報告書P（令和6年度）		P84-4	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	2,850	委託料	2,850	委託料	2,850
需用費	42				
概 要		概 要		概 要	
消耗品費 セカンドステージ支援事業		セカンドステージ支援事業		セカンドステージ支援事業	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	セカンドステージセミナー及び生きがい講座参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,150	令和7年度	目標	1,150	1,150	1,150	1,150
				実績	1,058	1,118	1,099	926
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
		実績	215	431	809	863	924	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者は、高齢者の交流や外出機会の創出につながる数値となるため。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	活動指標事業の参加者満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		90	令和7年度	目標	90	90	90	90
				実績	87.1	89.9	88.7	91.7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	79.1	80.1	84.8	86	83.8	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者アンケートの満足度を図ることにより、当該事業が高齢者の生きがいや社会参加の一助に資するかが測れるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	セミナーや講座については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ令和5年度末まで参加定員を減らしたことから、目標人数には及ばないものの、リピーターだけでなく、新たな元気高齢者を呼び込めている。今後も高齢者のニーズをとらえ、講座内容を多様なものにするなど工夫を重ねる。

課題・問題点
セミナーや講座に参加している高齢者自身の社会参加、生きがい創出につながっている事業ではあるが、人材バンク及びメールマガジンの登録者は横ばいである。社会参加をしたい高齢者をどのように地域活動へつなげていくかが課題である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	姉妹区提携交流ゲートボール大会経費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3 4 1 4
目 的	ゲートボールを通して、墨田区・台東区両区の親善交流と健康増進を図り、高齢者の生活を生きがいのある、明るく、豊かなものとする。					
対 象 者	墨田区、台東区に居住する概ね60歳以上の者で編成されたチーム					
根拠法令 関連計画	単年度決裁					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：株式会社ウエマサ 外1件	
事業内容	毎年度1回、墨田区と台東区の高齢者が、ゲートボールの親善交流試合を行う。					
経 過	開始年度	昭和57年度			終了予定	
	昭和52年	台東区と姉妹区提携				
	昭和57年	第1回姉妹区ゲートボール大会開催				
	令和4年	第41回姉妹区ゲートボール大会開催				
	令和5年	第42回姉妹区ゲートボール大会開催				
	令和6年	第43回姉妹区ゲートボール大会開催				
議会質問 の 状 況	令和2年度：【コロナウィルス感染拡大防止により、中止】 令和3年度：【コロナウィルス感染拡大防止により、中止】					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		7	264	294	596	233	625
A. 決算額（令和7年度は見込み）		5	5	179	312	204	625
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	147	155	116	156
	その他	0	0	0	0	0	312
一般財源		5	5	32	157	88	157
執行率（％）		71.43％	1.89％	60.88％	52.35％	87.55％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		1,769	1,764	1,815	2,014	2,035	
予算書P（令和7年度）		P142-7		執行実績報告書P（令和6年度）		P84-7	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	204	負担金補助及び交付金	204	委託料	469
需用費	100			需用費	137
使用料及び賃借料	10			使用料及び賃借料	11
報償費	6			役務費	8
役務費	2				
概 要		概 要		概 要	
謝礼 消耗品費購入 通信運搬料及び保険料 会場設営委託・撤去委託 会場使用料		台東区への支払		消耗品費購入 通信運搬料及び保険料 会場設営委託・撤去委託 看護師派遣委託 会場使用料	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	大会の実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和７年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	1	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		年に１回以上、安定的に事業を実施することが両区の親善交流につながる。						
事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	出場者の数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和７年度	目標	140	140	140	140
				実績	140	140	132	113
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	90	80
		実績	0	0	97	99	57	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		出場者数が高齢者の健康増進の指標となるため。 出場者減少のため目標値を８０に変更した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は高齢者の健康増進と墨田台東両区の親善交流につながっているが、ゲートボール人口が減少しており、近年は出場者数・出場チームの減少が続いている。このため、当面は現状の出場チーム数を維持し、実施できるように努める。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和２年度・３年度は事業を中止している。

課題・問題点
競技人口の高齢化や減少により、例年チーム数が減少している。 屋外競技のため、当日の天候によって実施の可否等、運営及び参加者の負担が大きくなる場合がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	ふれあい給食事業費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3415
目 的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。 なお、ふれあい給食事業は、高齢者の孤独感解消や地域社会との交流、生きがいの創出を促す事業である。					
対 象 者	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園					
根拠法令 関連計画	- 墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱 - 墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、その経費の一部を助成する。助成の内訳は次のとおり。 【ふれあい給食実施】 食材料費200円/食、事務費3,500円/回 【生きがい教室】 運営費8,000円/回					
経 過	開始年度	平成2年度			終了予定	
	平成2年度 事業開始 平成14年度 ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は13区で実施。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		100	0	0	0	880	902
A. 決算額（令和7年度は見込み）		13	0	0	0	354	902
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	7	0	0	0	177	451
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		6	0	0	0	177	451
執行率（％）		13％	－％	－％	－％	40.23％	100％
B. 人コスト		882	880	818	851	915	
総事業費（A+B）		895	880	818	851	1,269	
予算書P（令和7年度）		P146-12		執行実績報告書P（令和6年度）		P85-12	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		負担金補助及び交付金	354	負担金補助及び交付金	902
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和7年度	目標	182	175	184	195
				実績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	183	5	100	200	100	100
		実績	1	0	0	0	24	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため。令和6年度1園が補助金の申請を辞退したため、同年度以降の目標値を修正する。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	参加延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,246	令和7年度	目標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実績	3,643	3,514	3,508	2,745
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,779	85	170	3,400	1,246	1,246
		実績	5	0	0	0	422	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した高齢者数を表しているため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっているため引き続き本事業を実施していく。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 10

補助金名	ふれあい給食事業助成		
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3415
根拠法令	墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱		
補助概要	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、経費の一部を助成している。		
目 的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対しその経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。		
対 象	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園		
基 準	区独自基準		
補助条件	助成を希望する私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園は、年度当初に助成金交付申請書と事業計画書を区長に提出し、事業年度終了後 30 日以内に、実績報告書と請求書を提出する。		
経 過	開始年度	平成 2 年度	終了予定
	平成 2 年度 事業開始 平成 14 年度 ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		2,837	2,600	0	0	880	902
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		1,710	13	0	0	354	902
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,316	7	0	0	177	451
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		394	6	0	0	177	451
執行率（％）		60.27 %	0.5 %	－ %	－ %	40.23 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和 7 年度	目標	182	175	184	195
				実績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	183	5	100	200	100	100
		実績	1	0	0	0	24	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,246	令和 7 年度	目標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実績	3,643	3,514	3,508	2,745
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,779	85	170	3,400	1,246	1,246
		実績	5	0	0	0	422	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した高齢者数を表しているため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっているため引き続き本事業を実施していく。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する					
事 業 名	長寿者に対する祝金の贈呈事業費					
主管課	高齢者福祉課				電話番号（内線）	3415
目 的	区内に居住している最高齢者並びに百歳、米寿及び喜寿の高齢者に対し長寿者祝金を贈呈し長寿を祝福することにより、生きがいを創出する。また、直接訪問し、状況を確認することにより福祉の増進を図る。					
対 象 者	最高齢者（男女1名ずつ）、満百歳、米寿（数え88歳）、喜寿（数え77歳）					
根拠法令 関連計画	・墨田区長寿者祝金贈呈事業実施要綱 ・墨田区高齢者福祉総合計画第9期介護保険事業計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4・民生委員	
事業内容	・最高齢者（男女1名ずつ） 贈呈内容：50,000円及び最高齢認定証、花束の贈呈 ・百歳（満） 贈呈内容：25,000円及び賀寿状の贈呈 ・米寿（数え88歳） 贈呈内容：10,000円 ・喜寿（数え77歳） 贈呈内容：5,000円					
経 過	開始年度	昭和33年度			終了予定	
	昭和33年度 敬老金開始 昭和33年度 最高齢開始 昭和58年度 百歳開始 平成10年度 喜寿・米寿開始					
議会質問 の 状 況	[令和3年予算特別委員会] 事業見直しの検討について [令和5年決算特別委員会] 現金給付に替わるデジタルデバйд解消につながる贈呈品について [令和6年予算特別委員会] 現金給付に替わるデジタルデバйд解消につながる贈呈品について [令和6年決算特別委員会] 事業の意義と継続する意向について [令和7年予算特別委員会] 現金給付に替わるデジタルデバйд解消につながる仕組みについて					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ・R6年時点 23/23区で実施 ・R6年時点 実施内容（重複あり） 祝金 12区 商品券 12区 その他 12区					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		27,143	25,310	29,315	32,863	32,822	35,132
A. 決算額（令和7年度は見込み）		26,693	24,679	27,163	31,942	31,183	35,132
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		26,693	24,679	27,163	31,942	31,183	35,132
執行率（％）		98.34％	97.51％	92.66％	97.2％	95.01％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		30,222	28,197	30,435	35,347	34,845	
予算書P（令和7年度）		P141-3		執行実績報告書P（令和6年度）		P83-3	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
扶助費	31,700	扶助費	30,815	扶助費	33,275
需用費	159	役務費	185	役務費	1,145
役務費	84	需用費	183	需用費	712
概 要		概 要		概 要	
消耗品、印刷費 郵送料 祝金		消耗品、印刷費 郵送料 祝金		消耗品、印刷費 郵送料 祝金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	みまもりだより発行部数				単位	枚
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		25,600	令和7年度	目標	26,400	26,400	26,400	26,400
				実績	26,400	26,100	26,600	26,600
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,600	26,600	25,600	25,600	25,600	25,600
		実績	25,600	23,259	23,265	23,442	23,224	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		贈呈の趣旨や方法をあらかじめ周知することにより、効率よく祝金を配布できるため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	贈呈者数（最高齢者・百歳・米寿・喜寿）				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		4,365	令和7年度	目標	3,808	4,040	4,054	4,022
				実績	3,780	3,936	3,988	3,945
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,482	3,425	3,443	4,406	4,395	4,365
		実績	3,823	3,340	3,681	4,650	4,495	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		祝金の贈呈が高齢者の生きがい、励みとなるため。なお、目標数は策定時での対象者数であるため、死亡、転出等により変動する。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	本事業は区民からのニーズが高く、高齢者の長寿を目指すきっかけになっているが、近年平均寿命も延びており、今後は事業内容を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
贈呈者、贈呈方法などについて見直しを検討する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	431 元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する		
事 業 名	高齢者デジタルデバйд解消事業費		
主管課	高齢者福祉課	電話番号（内線）	3414
目 的	都内で最大の組織率を誇る墨田区老人クラブを対象に、民間事業者、区内の大学等と連携してスマートフォン講習会・交流会を実施し、老人クラブの活性化や世代間交流を図りながら高齢者のデジタルデバйд解消を目指す。		
対 象 者	墨田区老人クラブ会員、60歳以上の区民		
根拠法令 関連計画	・墨田区基本計画 ・墨田区高齢者福祉基本計画 第9期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤3・エーテンラボ株式会社
事業内容	■【都事業活用】スマートフォン体験会・相談会（一般区民向け） 高齢者向けのスマートフォン体験会・相談会を区内公共施設で毎月1回程度実施をする。 ・スマートフォン体験会（令和6年度 開催数：22回 参加人数：187名） ・スマートフォン相談会（令和6年度 開催数：40回 参加人数：178名） ■【区委託】スマートフォン定期相談会（一般区民向け） ・令和6年度 開催数：47回 参加人数：401名 ■【区委託】スマートフォン体験会・交流会（令和6年度開催数：14回 延べ参加人数：147人） ・スマートフォンの利用を習慣化させ、基本操作の習得を目的に老人クラブの仲間同士で5人一組のチームとなり日常的にスマートフォンの交流ができる「みんなチャレ」アプリの体験会の実施をする。 なお、中学生議会の提案を受け、令和6年度は1つの中学校から1名の生徒が本事業に参加した。		
経 過	開始年度	令和3年度	終了予定
	■【区委託】スマートフォン定期相談会（一般区民向け） 令和5年度 事業実施開始 ■【区委託】スマートフォン体験会・交流会 令和3年度 モデル実施（対象：墨老連役員10名） 令和4年度 事業実施開始（対象：老人クラブ向け） 令和6年度 実証実験（地域包括支援センターでの活用）		
議会質問 の 状 況	【令和6年予算特別委員会】 「みんなチャレ」の地域包括支援センターでの活用について		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	200	2,826	5,000	4,198	4,749
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	115	2,578	3,546	3,838	4,749
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	85	2,559	3,546	379	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	30	19	0	3,459	4,749
執行率（％）		-	57.5	91.22	70.92	91.42	100
B. 人コスト		0	880	6,543	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		0	995	9,121	10,356	11,161	
予算書P（令和7年度）		P145-37		執行実績報告書P（令和6年度）		P89-38	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	3,357	委託料	3,576	委託料	2,996
報償費	142	報償費	198	報償費	1,608
使用料及び賃借料	47	使用料及び賃借料	60	使用料及び賃借料	132
		役務費	6	役務費	13
概 要		概 要		概 要	
学生謝礼 老人クラブ向けスマートフォン体験会 スマートフォン相談会 会場使用料		学生謝礼 通信運搬料 老人クラブ向けスマートフォン体験会 スマートフォン相談会 会場使用料		補助員謝礼 通信運搬料 スマートフォン体験会 スマートフォン相談会 会場使用料	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	スマートフォン体験会・相談会等参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,100	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	10	140	1,000	3,500	2,100
		実績	—	10	805	928	913	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		体験会等の参加者の把握は、スマートフォンでの交流や使用する機会の創出につながった指標となるため。R7の目標値は実施可能回数に合わせて修正した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	スマートフォンで利用している機能・サービス利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		68.3	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	60.8	64.5	68.3
		実績	—	—	—	51.5	39.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		【区委託】スマートフォン体験会・交流会参加者へ2年毎に実施する墨田区住民意識調査の「スマートフォンで利用している機能・サービス」と同様のアンケートを行う。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	活動指標について、実績が低下しているものの、開催数に対する参加率は向上しているため、順調に推移している。一方、成果指標については、令和5年度より数値が低下しており、今後もさらに高齢者が当事業に参加後、日常でスマートフォンを活用することができる事業内容に改善していく必要がある。

課題・問題点
高齢者がスマートフォンを使えるようになるためには、操作指導のみではなく日常でスマートフォンを使う機会（目的・相手）の有無が大きく影響する。このため、「みんなチャレ」アプリを使用したグループ活動やスマートフォン相談窓口を拡充することで、スマートフォンの使用機会を増やしていく。